

カルチュラル・スタディーズ学会 第5期幹事会 第4回幹事会 議事録

日時：2021年4月25日 13:00～15:10 zoom にて開催

出席者：毛利、菊地、ケイン、村田、山本、大山、井上、大石（事務局）、竹崎（大会委員）

<年報カルチュラル・スタディーズ最新号の編集状況について>

・菊地編集委員長より、第9号の編集状況について報告がなされた。

→3月に査読の最終結果が揃い、4月に投稿論文の最終版が確定し、現在、創文企画とのあいだで入稿に向けた調整がおこなわれている。

・第9号の見積もりについては事務局のほうから創文企画に確認をとる。

・第9号の編集の流れを踏まえて、次号以降の編集スケジュールについては今後、編集委員会において検討の予定。

<新規入会承認>

27名の新規入会が承認された。これにより現在の会員数は308名となった。（2020年度末での自然退会者を含む）

<紙による入会届の廃止について>

会員管理システム SMOOSY の導入により、入会申請も SMOOSY でおこなうことが可能になったため、今後は原則として紙の入会届の様式を廃止することが事務局から提案され、了承された。

→今後、オンライン入力が難しい入会申請者にたいしては、事務局がサポートすることをあわせて確認した。

<現行のメーリングリストから SMOOSY の一括送信システムへの移行について>

会員管理システム SMOOSY の導入にあわせて、これまでのメーリングリストを廃止し、SMOOSY を経由した会員への一括送信システムへ移行したいことが事務局から提案された。この移行により、会員は今後、投稿した内容を事務局に送信し、事務局から配信する方式に変更する。

→移行が了承された。

<会則第21条にかんする特別委員会の活動状況について>

・田中東子会員を委員長とする特別委員会の立ち上げを幹事会にて承認したことを受け、田中委員長が、張瑋容、辰巳遼、井上弘貴（事務局）の3名を委員に任命した。

→3月22日に、創設10周年点検委員会の初会合がzoomでおこなわれ、そこでの議論の結果、会員にひろくアンケートを呼びかけ、そのアンケート結果を集約するかたちをもって、「本会の成果と意義を点検し、解散も含めた見直しを行う」ことを決定した。

・回答期間を2021年4月23日（金曜日）18時～4月29日（木曜日）23時として、創設10周年点検委員会からアンケートを会員にむけて一斉送信したことが報告された。

→アンケートの集約の状況については、事務局から幹事会にたいして適宜、報告をおこなうことを確認した。

<緊急事態宣言発令を受けての金沢カルタイの開催方針について>

・4月24日におこなわれた大会委員会と開催校実行委員会の合同zoom会議で確認された基本方針を踏まえ、幹事会にて意見交換をおこなった。

・5月11日時点での緊急事態宣言の状況を踏まえ、5月16日の午前にzoomによる幹事会を開催し、そこで最終判断をおこなうことを確認した。その際、延期と中止は選択肢とせず、対面継続か、オンライン開催かのどちらかで最終判断することを確認した。

・21美の使用が不可能となった場合、大学（金沢美術工芸大学）あるいは石引パブリックを使用することに切り替えができないか（あるいは、オンライン配信会場としても）について、稲垣開催校実行委員長に確認をとる。

・リアルタイム配信、オンデマンド配信、事前録画をリアルタイムで視聴したうえでのリアルタイム質疑など、オンライン実施の仕方についてさまざまな可能性があることを確認した。

→幹事会の意見としては、オンライン開催となった場合でもライブ性を保ちたいという意見が中心となった。

→司会の負担が重くならないオンライン開催の仕方にしてほしいという要望が出された。

・具体的な配信手段としては、以下の議論が出された。

→それぞれの開催日のセッションごとの部屋でzoomをひとつ立ち上げ、各部屋にホスト管理者が貼りついて、司会や登壇者等に入れ替わりで出入室してもらう。その場合には、毛利研究室で一括して請け負うという案が出された。

→無料のイベントとして設定のうえ、Peatixのサービスを利用する。

・5月11日までの暫定的な下準備として、SMOOSYを提供している（株）アトラスに見積もりを兼ねた相談を事務局がおこなう。

以上

(議事録作成者 事務局 井上)